



別海町立中春別中学校



学校だより

令和4年11月1日発行

『 雲外蒼天 ～ 42人で描く空 』

校長 岩崎 撰也

朝夕の冷え込みが日ごとに増し、冬の到来を感じさせる季節になりました。先日行いました第54回文化祭ではたくさんの保護者の皆さまがご来校くださり、温かいご声援や励みとなるお言葉をいただきましたことに感謝申し上げます。

演劇では学年ごとに見る人に訴えかけるテーマは違いますが、どの学年も心に届く演技をしようとする一生懸命さが伝わってきました。文化祭の準備期間は10月の中旬から約2週間、短い準備期間ですが、一人一人が自分に割り当てられた仕事に集中して取り組み、チームとなって創りあげることの大切さを感じることができたのではないかと思います。大道具・小道具など裏方で頑張る人、脚本を創りあげる人、演出を考える人など、縁の下で支える力もとても大切で、クラスの皆の力が合わさることで最大の力となります。当日は各学年とも観客の皆さんの心に届く、素晴らしい演劇になっていました。

全校合唱では、それぞれのパートの歌声が響き合い、奏でるハーモニーの美しさ、力強さを感じることができました。終わってから、石森PTA会長とお話しする時間があつたのですが、合唱すごかった、少しうるうるしましたと話しておられました。私も同じでした。よくここまで高いパフォーマンスまで仕上げることもできたと感じました。すべてのプログラムが終わり、体育館を後にする生徒たちの顔はやり遂げた満足感や充実感があふれていました。

文化祭という大きな行事の中で生徒たちに一番感じてもらいたかったことは、チームとして一丸となって取り組んだとき、とても大きな力になるということです。そこに至るまでは意見がぶつかり合うこともあるかもしれない、うまくいかなくて焦ることもあるかもしれませんが。今回のテーマ「雲外蒼天」のとおり、その困難を乗り越えたとき、抜けるような青空に出会うことができる。生徒の皆さんにはこれからの学校生活の中でもこんな気持ちで困難を乗り越えてほしいと思います。



暦はいよいよ11月、これからは2学期のまとめとして「学び」を大切に、学習に集中して取り組む時期になります。この文化祭でそれぞれの子どもたちが身につけた、努力して「自分自身の壁」を打ち破った経験や、やり遂げた自信をこれからの学校生活につなげてほしいと思います。また、コロナへの警戒とともにインフルエンザが流行し始める時期です。睡眠や食事をしっかり取るなど、体調管理をしっかりとって、毎日を元気に過ごしてほしいと思います。